

リアルタイムオンライン学習支援システム 「KadaMate for Live」の質問行動データ生成・蓄積機能の開発

合田 壮汰

香川大学 大学院創発科学研究科 / 香川大学 情報化推進統合拠点 DX推進研究センター

1. はじめに

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全国の多くの大学で**オンライン形式の授業が実施**されている
- ・質問行動は、学習内容の理解を深める重要な学習行動であるが、**心理的なハードルがある**ことが報告されている
- ・八重樫研究室では、**仮想受講者をオンライン学習のチャットに参加**させることで、受講者の質問/回答を活性化させるシステム「KadaMate/カダメイト」を開発した

2. 課題

- ・「KadaMate/カダメイト」は**オンデマンド授業**を対象にしていた
- ・事前に必要となる質問文/回答文を生成と、質問/回答のタイミング設定をする必要という課題を有していた

⇒本研究では、生成AIを用いてリアルタイムオンライン授業に対応するシステムを開発する

3. 学習支援システム「KadaMate For Live」

- ・「KadaMate/カダメイト」は、Microsoft SharePointとMicrosoft TeamsをMicrosoft Power PlatformのMicrosoft Power Automateで連携することで開発された
- ・「KadaMate For Live」は2つのデータベースを持つ「**質問行動記録システム**」と3つの機能を持つ「**自動質問/回答システム**」の2つのシステムから構成される

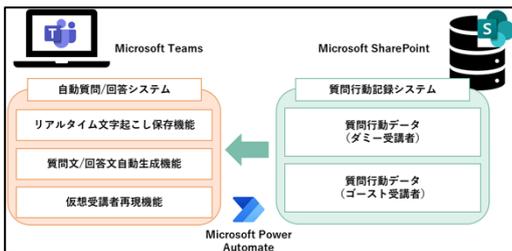


図 KadaMateの概要

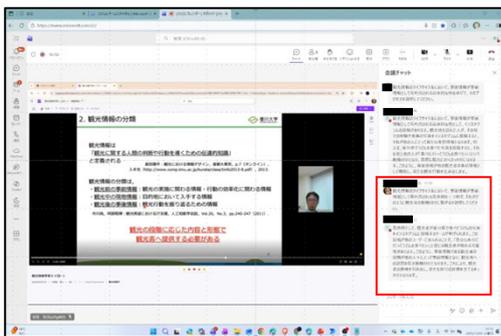


図 KadaMate利用時のMicrosoft Teamsの画面

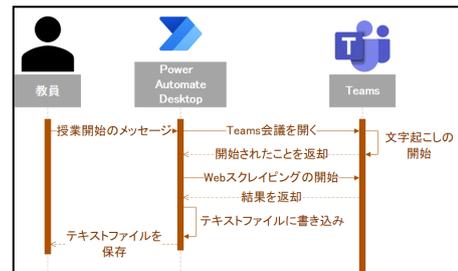


図 リアルタイム文字起こし保存機能のシーケンス図

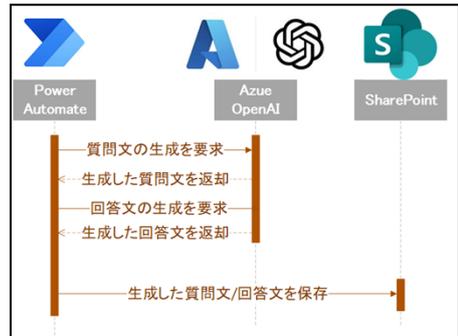


図 質問文/回答文自動生成機能のシーケンス図

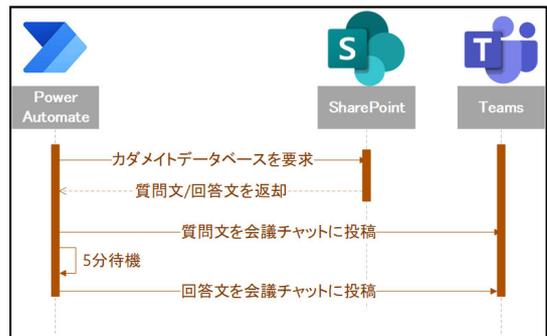


図 仮想受講者再現機能のシーケンス図

4. まとめ

- ・本発表では、リアルタイムオンライン授業を支援する「KadaMate For Live」について紹介した
- ・リアルタイムで仮想受講者が質問行動をおこなうことで**教育の質的向上が期待**される
- ・質問行動のハードルが下がることで、**受講者のモチベーションの維持や獲得が期待**される